



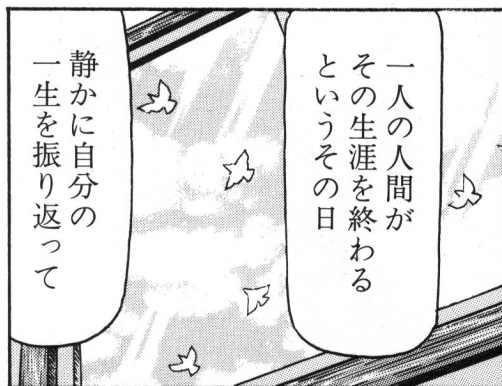
オレには
人生哲学が
あった…

それは
弟子達にも
言ってきた

人生とは
想い出の
集積である…



その想い出が
快いものであったか
つらいもので
あったか



一人の人間が
その生涯を終わる
というその日

静かに自分の
一生を振り返って



オレの生命は
あとわずかだ…

自分は
どうであったか…



その最後の想い出が
自分に審判を下すと
いう考え方…

最後の時
心が安らいでいなければ
死は安らかでないだろう